

# あなたと議会



2016  
190号  
2月25日発行

改選後初の定例会一般質問に  
19人の議員が登壇しました!!



市政を問う  
議会からあなたへ



つるしびな(屋台のまち中央公園・掬翠園)

大島 久幸 議員

日本一の木造校舎の  
今後について伺う



# 市政を 問う

第7回定例会で19人が登壇  
鹿沼市政について質問をしました。



**質問**  
鹿沼市立北小学校木造校舎の  
現役使用について伺う。  
**答** 弁(教育次長)  
**校舎を残していくための  
検討をしています。**

北小学校校舎は歴史的な価値  
はもちろん、木のまち鹿沼のシ  
ンボル的な大規模木造建築物で  
あると考えています。耐震補強  
の検討以外に、校舎として使い  
続けること、現状の形をできる  
だけ残していくこと、児童が過  
ごしやすい校舎であることの3  
つをテーマに外観、内装、先々  
の維持補修を見据えた長期的な  
検討をしています。

北小学校クラスの大規模木造  
校舎の耐震補強は、全国でも事  
例がなく、一般的な耐震補強で  
は現状を維持することが難しい  
ため、木造耐震補強の第一人者  
である東京都大学の大橋好光  
教授を特別顧問に迎え、建築士  
などの技術者を中心に10名で構  
成した「北小学校木造校舎耐震  
補強技術検討会」により、技術  
的な検討をすることになりました。  
現在まで3回の検討会を開催し  
ており、防火区画を含めた既存  
不適格の問題、断熱対策、水回  
り、将来の維持管理、学校側の  
要望を含めた長期的かつ幅広い  
検討をしています。



▲鹿沼市立北小学校



花木センターの  
諸課題について伺う



**質 問**  
今後の花木センターの運営に  
対する考えを伺う。  
**答 弁（経済部長）**  
**来場者を増やすための取  
り組みを検討しています。**  
平成27年の鹿沼市花木セン  
ターの決算見込みは、指定管理  
料を含む事業収入が対前年比10.5  
%減の4億500万円、事業費用が  
対前年比10.0%減の4億330万円  
あり、事業収益は280万円の赤字  
となる見込みです。平成28年は、  
徹底的な業務改善と売り上げ増  
加策を実施し、人件費の大幅削  
減を行い、まずは単年度黒字化  
を目指してまいります。

売り上げ減少の一番の原因は、  
来場者数の減少であることは明  
白ですので、来場者を増やすこ  
とが最も重要な課題であると認  
識しています。来場者に優しい  
施設の配置とするため、現在あ  
る管理事務所と物産館の入れ替  
えをすぐに実施します。また、  
売り場に近接した駐車場の増設  
やトイレの洋式化、セリ場の塗  
装と展示場の増設による直売所  
機能の拡充、温室へのカフェ機  
能の導入などを検討しているこ  
ろです。今後、お客様の視  
点に立った施設の運営を心がけ、  
リピーターの増加を図っていき  
たいと考えています。



▲鹿沼市花木センター

子ども医療費の中学3年生  
終了までの窓口無料化の拡  
大について伺う



**質 問**  
平成28年度からの子ども医療  
費助成制度の現物給付拡大の目  
的、詳細について伺う。  
**答 弁（市長）**  
**子育て世代の負担軽減を  
図ります。**  
現物給付は、医療機関窓口に  
おいて、保険診療分自己負担の  
支払いがないため、保護者の医  
療費負担の不安が解消され、急  
病の場合でも手持ちの現金を気  
にせず病院に行くことができ、  
子供の病気の早期発見と治療を  
促進し、重症化を防ぐ効果が期  
待されています。また、助成申  
請を行う手間もなくなり、忙し

い子育て世代への負担の軽減が  
図られます。  
現在は中学3年生までの子ど  
もを対象に医療費の自己負担額  
を助成しており、小中学生は医  
療費を一たん支払った後、市に  
申請する償還払いで行っていま  
すが、平成28年4月から中学3  
年生まで現物給付を拡大します。  
未就学児498人、小中学生744人合  
計1万242人が対象となり、拡大  
後は約1億100万円の財政負担額  
増を見込んでおります。  
現物給付拡大の対象地域は栃  
木県内の医療機関等にしたいと  
考えています。



鈴木 敏雄 議員

小・中学校のエアコン設置  
について伺う



質 問

平成28年度からの市内小中学校のエアコン設置の計画、またリース方式による導入について詳細を伺う。

答 弁（教育次長）  
短期間での全校導入を図ります。

来年度からリース方式により計画的にエアコンを設置していく予定です。今後の計画としては、近年の暑さによる熱中症などの健康被害や学習に対する集中力低下などが多く見受けられるため、学習環境向上の観点より受験生がいる中学校から整備を行い、その後順次小学校への

整備を進め、短期間での全校導入を図っていきたくと考えています。

電気方式の室外機個別型で、関連する工事をリースに含めることを基本とし、メンテナンスを含めたリース期間10年、10年経過後は無償譲渡することを条件とした発注を行う予定です。

金額は、学校の規模、電気配線及び設置工事や受変電設備の増設工事費等があり、一律ではありませんが、普通教室で導入した場合、1教室のリース料は平均で年間25万円程度、そこにメンテナンス費用を加算した額になると試算をしています。



▲エアコン設置工事（板荷中学校）

館野 裕昭 議員

小中学校のICT推進に  
ついて伺う



質 問

タブレットパソコンのモデル校（南押原小、西大芦小、上南摩小、板荷小）の位置づけ、活用状況を伺う。

答 弁（教育次長）  
タブレットパソコンの有効性を検証しています。

現在タブレットパソコンをモデル校4校に90台配置しています。この4校は、今後の小中学校ICT整備においてタブレットパソコンが情報教育を推進していくうえで、どの程度有効なのかを検証するため、モデル校として位置づけたものです。現在は主にインターネットを利用

して修学旅行や遠足などの事前学習のほか、社会科・理科・総合学習などに利用しています。

タブレットパソコンは、持ち運びが可能で、キーボードやマウスがなくても操作ができることなど、デスクトップ型のパソコンにはない独自の利点を持っています。タブレットパソコンが配置されている学校からは、キーボードの操作練習や作成した成果物の印刷ができないなどの報告もあるため、今後有用性も検証しながら、機種により児童間の格差が生じないよう早急に周辺機器などの環境整備を進めているところ です。



▲モデル校に配置しているものと同型のタブレット

橋本 正男 議員

南押原地区の市道の整備について伺う



**質 問**  
市道9066号線の整備の検討内容、進捗状況を伺う。

**答 弁**（都市建設部長）  
自治会や土地改良区との現地状況調査を進めながら検討していきます。

当路線は、平成25年度の南押原地区車座集会において拡幅要望が出されました。昭和40年代に土地改良事業により整備された道路で、一部に道路と並行して南押原土地改良区が管理する農業用水が流れています。

車座集会での要望を受け、現地調査を行いました。国道293号との接道部分が東北縦貫自動

中央都市圏首長懇談会に参加し、その中で図書館やスポーツ・レクリエーション施設の相互利用を実施しています。単独自治体の取り組みだけでは財政的にも限界があり、広域連携事業の必要性はますます高まるものと考えています。

既に実施している各種連携事業を再評価し、近接市や友好都市など、国の施策やこれまでのパターンにとらわれない、市民全体の連携を含めた柔軟で多様な広域連携を進め、鹿沼市の住みよさや魅力をアピールし、交流人口・定住人口の増加につなげたいと考えています。

車道アンダーパスに近接し、見通しが悪い状況などから、安全性の確保が困難な状況となっており、道路改良事業で整備することは難しいと考えています。

代替案として、本路線内に部分的に待避スペースを設けることが有効であると思われれます。整備には隣接関係者からの用地等の協力や水路管理者である南押原土地改良区と農業用水路を改修するなどの協議も必要となつてまいります。今後地元自治会や土地改良区との現地の状況調査を進めながら、用地の問題や対応が可能な箇所について検討していきたいと考えています。



▲市道9066号線

湯澤 英之 議員

新しい取組について伺う



**質 問**  
人口流出を食い止める、人の流れを創出するために「定住自立圏構想」に取り組むべきと考えるが市の所見を伺う。

**答 弁**（市長）  
柔軟で多様な広域連携を進めます。

栃木県内では、大田原市、那須塩原市、佐野市、栃木市、小山市が中心市として取り組んでいます。国から様々な財政支援を受けることができますが、残念ながら本市は中心市となる要件の一つである「昼夜間人口比率1以上」を満たしていません。本市は、平成4年度から栃木県

「定住自立圏構想」とは

今後、地方圏においては、大幅な人口減少と急速な少子化・高齢化が見込まれています。このような状況を見据え、地方圏において、安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

定住自立圏構想は、このような問題意識の下で、市町村の主眼的取組として、「中心市」の都市機能と「周辺市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、NPOや企業といった民間の担い手を含め、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確認し、地方圏への人口定住を促進する政策です。

島田 一衛 議員

小中学校のエアコン及び、  
トイレ整備について伺う



**質 問**  
小中学校のトイレの洋式化について、現在の状況、今後の整備計画について伺う。

**答 弁（教育次長）**  
給排水設備の更新にあわせ、洋式トイレへの切り替えを加速していきます。

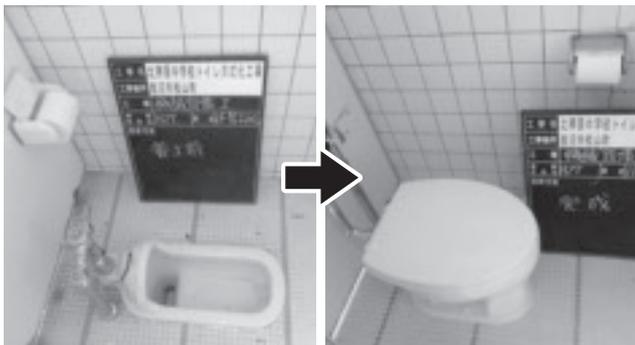
校舎内及び屋内運動場の室内トイレで洋式トイレの割合は、小学校で39%、中学校で58%、全体では45%となっています。これまで改築工事や小中学校で毎年3校程度のトイレ洋式化の工事を実施し、和式から洋式への切り替えを進めてきました。今後は児童生徒の洋式トイレ

費の削減は避けて通れないと考えております。この計画により、全ての公共施設について、機能集約等を含めた効果的配置を進めていきたいと考えています。

新庁舎とほかの施設との機能分担等についても、本計画の整理をもとに今後検討していきたいと考えています。平成26年からワーキンググループを設置して検討を始め、平成26年度は維持管理費等を含む現状調査を実施しました。現在、施設を目的別に分類、評価して、今後の対応策を検討しているところです。年度内には計画案をまとめていきたいと考えています。

用率が高いこともあり、施設の長寿命化対策として行う給排水設備の更新にあわせ、和式から洋式への部分的な切り替えだけでなく、トイレブース全体を更新し、洋式トイレへの切り替えを加速していく計画です。

ただし、改築工事や耐震補強及び防災機能強化工事などを除いては、国庫補助事業が不採択となったため、本市でも今年度計画していた北中学校給排水管外改修工事が延期になっています。今後は、栃木県内各市と歩調をあわせ、国に要望を出しながら、予算確保に努め、洋式トイレの設置を進めてまいります。



▲和式から洋式への切り替えを進めています。

市 登 議員

市庁舎建設問題について伺う



**質 問**  
庁舎建設に大きくかわかる「公共施設等総合管理計画」の目的、考え方、進捗状況を伺う。

**答 弁（市長）**  
年度内に計画案をまとめる予定です。

公共施設等総合管理計画は、公共施設の維持管理費の削減、施設管理や利用に関するデータの一元化等を目的として、計画期間はおおむね20年間として実施しています。

人口減少社会の中で、将来にわたって各施設を現状の数や規模で維持することは大変困難であり、施設の統廃合や維持管理

費の削減は避けて通れないと考えております。この計画により、全ての公共施設について、機能集約等を含めた効果的配置を進めていきたいと考えています。

新庁舎とほかの施設との機能分担等についても、本計画の整理をもとに今後検討していきたいと考えています。平成26年からワーキンググループを設置して検討を始め、平成26年度は維持管理費等を含む現状調査を実施しました。現在、施設を目的別に分類、評価して、今後の対応策を検討しているところです。年度内には計画案をまとめていきたいと考えています。

「公共施設等総合管理計画」策定の背景

平成24年12月の中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故の発生を受けて、総務省は平成26年4月に指針を示し、全国の自治体に対して、自ら保有する公共施設等について、「公共施設等インフラの老朽化が急速に進展していることが表面化しました。こうした状況を踏まえ、国は平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、国を挙げて計画的にインフラの維持管理・更新を

行うための方針と体制を整備しました。それを受けて、総務省は平成26年4月に指針を示し、全国の自治体に対して、自ら保有する公共施設等について、「公共施設等インフラの老朽化が急速に進展していることが表面化しました。こうした状況を踏まえ、国は平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、国を挙げて計画的にインフラの維持管理・更新を



石川さやか 議員

環境問題について伺う



**質 問**  
ごみ減量の啓発活動の状況と課題について伺う。

**答 弁（環境部長）**  
**多様な啓発、広報活動を行っています。**

「第5次鹿沼市一般廃棄物処理基本計画」において、平成28年度には、平成22年度の基準年次から燃やすごみを5%削減することを数値目標とし、達成するために多様な啓発や広報活動を行っています。目標達成のためには、今まで以上に家庭や事業所における5種14分別の徹底やリデュース、リユース、リサイクルの3Rを推進することが

必要と考えます。なお、9月・10月のごみ焼却炉の完全停止期間中は、前年比で36%の減量をすることができました。市民の皆様一人一人がごみ減量の意識を高めていただければ、必ずごみ減量は可能であると確信しています。

特に、きれいなまちづくり推進員は、「きれいなまちづくり推進条例」に定める環境美化の促進等にご尽力をいただいています。また廃棄物減量等推進員を兼ねており、自治会内でのごみ分別や減量のための推進役であるため、連携してごみ減量を推進していきたいと考えています。



▲秋祭り翌日の一斉清掃（きれいなまちづくり推進員）

加藤美智子 議員

学校教育（義務教育）について伺う



**質 問**  
平成24年度より文部科学省が学校図書館司書の財源を確保したことについて所見を伺う。

**答 弁（教育長）**  
**国の動向を注視しながら検討していきます。**

国が示した学校図書館担当職員に対する地方財政措置は、地方交付税です。地方交付税は、地方行政の計画的な運営を保障することを目的とする使途の限定されない一般財源で、必要経費に対して一定の補助率で交付する補助金とは性質が異なるものです。学校図書館支援員10名に係る予算額は、平成27年度に

おいては955万4000円であり、普通交付税の基準財政需要額に学校図書館担当職員に係る費用として算入されています。

平成27年「学校図書館法の一部を改正する法律」が施行されました。改正点は、司書教諭、専ら学校図書館の職務に従事する職員の学校司書への位置づけ及び配置に関する努力義務です。附則では、国が資格や養成のあり方を検討することが規定されました。現段階では詳細が不明なため、国の動向を注視し、学校図書館支援員の学校司書への位置づけや勤務体系の見直し等を検討していきたいと考えます。

「司書教諭、学校司書とは」

学校図書館法では、学校図書館の専門的職務を担う教員として、「司書教諭」を学校に置くこととしています。（12学級以上の学校には、必ず司書教諭を置かなければなりません。）

司書教諭は、教諭として採用された者が学校内の役割としてその職務を担当し、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導、学校図書館の利

用指導計画を立案し、実施の中心となるなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担います。なお、教員としてではなく、事務職員として採用された者が学校図書館に勤務する場合は「学校司書」と呼ばれます。



鈴木 毅 議員

プレミアム付商品券について伺う



質 問

販売の時間帯、販売方法について伺う。

答 弁（経済部長）

購入者が予想を上回り道路渋滞等が生じました。

「かぬまプレミアム付ニコニコ商品券」の販売は、鹿沼商工会議所が主体の事業で、市は消費喚起と市内商店の活性化のために国の地方創生交付金を活用し、プレミアム分の補助を行っています。

7月4日の第1弾の販売は、朝9時に開始しましたが、予想を上回る購入者で、道路の渋滞や駐車違反が生じ、多くの市民

から苦情が寄せられました。第2弾の販売に向け市では、鹿沼商工会議所に販売場所の変更を提案しましたが、困難とのこと

で前回同様鹿沼商工会議所での販売となりました。渋滞等の解消として、近隣の商業施設の駐車場が開店前であれば借用できるため、朝7時からの販売開始にしたと聞いています。第一弾の販売結果を受け、市としても混乱が生じないよう事前の申し込み制や抽選での実施等を鹿沼商工会議所に提案しましたが、最終的に鹿沼商工会議所が先着順と決定し販売した

ところとす。



▲プレミアム商品券の販売

阿部 秀実 議員

インフルエンザ予防接種の高齢者負担額について伺う



質 問

高齢者が予防接種を受けやすくし、高齢者に優しい制度を求めるがどうか。

答 弁（保健福祉部長）

予防接種事業の全体的なバランスを考慮し助成を行います。

現在本市では、65歳以上の高齢者を対象にしたインフルエンザ予防接種の助成額は2,180円で、自己負担額はおおよそ2,000円から2,500円程度であると認識しています。また65歳以上の生活保護受給者の方には460円を助成しており自己負担はありません。本市では、インフルエンザ予

防接種を生後6カ月から小学校就学前の乳幼児に対しても実施し、高齢者と同額の2,180円の助成を行っており、乳幼児を対象にしたインフルエンザ予防接種の助成額は栃木県内14市の中でも手厚いものとなっています。

予防接種は多くの人が接種を受けることで感染症の蔓延を防止するために実施しています。重症化しやすい乳幼児と高齢者に均等に助成をすることで、より多くの方に接種を行ってほしいと考えています。今後

も予防接種事業の全体的なバランスを考慮しながら、助成を行っていきたいと考えています。

鹿沼市の高齢者インフルエンザ予防接種（平成27年度）

対 象 者	(1) 接種日に満65歳以上の人 (2) 接種日に満60歳以上65歳未満で、身体障害者手帳1級該当程度で、心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害がある人
助 成 期 間	平成27年10月1日～平成28年2月29日
一 部 助 成 額	2,180円（1人当たり、助成期間内1回） ※接種費用から一部助成額を差し引いた残額は自己負担になります。 対象者(1)(2)に該当する人で、生活保護を受けている人は全額助成します。

大貫 毅 議員

西北部地域の  
地域振興について伺う



本市では平成14年度から地区ごとに住民参加による活性化行動計画を策定し、その中にコミュニティ活動や地域資源を生かしたイベント等の事業を位置づけて実践してきました。平成24年からは、協働のまちづくり推進事業を設け、地区のアイディア会議等を主体として、各地で事業を進めています。地域

活動の取り組みを重ねることで、市民の皆さんも自らの力で地域活性化を進めようという意識が高まってきているものと感じています。今後は、住民の皆さんが課題解決のための事業を選択して推進するため、コミュニティ主体の計画を策定していただき、その予算については、いわゆる地域分権型予算の導入を図りたいと考えています。産業振興や生活環境整備等を含む、地域振興ビジョンについて、次期総合計画の中で地区の単位を超え、地理的条件等で区分したゾーンごとの方針や施策を位置づけたいと考えています。



▲東大芦ふれあいフェスタ

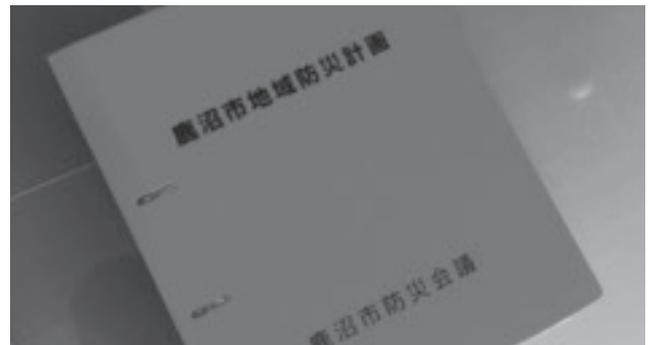
小島 実 議員

鹿沼市地域防災に  
ついて伺う



災害時の本部長の意思決定、職員応急対応手順マニュアルについて伺う。  
答 弁(市長) 「鹿沼市地域防災計画」により早い段階で指示を発令しました。

前に本部長である私の判断により、避難勧告または指示を発令しました。また、情報発信の手段として、初めて緊急速報メールの使用も決定いたしました。「鹿沼市地域防災計画」では、災害に対する予防から応急対策及び復旧・復興対策に至る一連の防災活動を適切に行い、市民等の生命、身体及び財産を保護することを定めるとともに、職員が所属する班ごとのマニュアルを定めています。毎年度見直しを行っていますが、特に今回の大きな災害対応を踏まえた大幅な改定が必要と考えています。



▲鹿沼市地域防災計画

新産業用地創出の  
進行状況について伺う



質 問

取組み状況と今後のスケジュールを伺う。

答 弁(市長)

スピードに事業を進めていきたいと考えます。

平成27年1月に「新産業団地整備検討会」を立ち上げて検討を進め、11月より調査業務を開始しました。調査内容は、鹿沼市の産業特性と課題、産業適地の条件、新たな産業用地の可能性、開発可能地区の考え方、事業規模による採算性等についてです。この調査結果と庁内検討会議の結果を踏まえ、平成28年3月をめどに具体的な新産業団

地の基本計画(案)を作成し、その後地元への説明会等の調整を進めていきたいと考えています。着工や完成の時期は、土地利用や関係法令の手続、関係機関との調整が必要で、事業規模も確定していない等、現時点では不確定要素が多い状況ですが、できるだけスピードに事業を進めていきたいと考えます。

新産業団地の創出は、将来の鹿沼市にとって産業の振興、雇用の創出や税収の確保等の面で非常に重要な事業であるため、次期総合計画においても最重要事業の一つとして位置づけていく考えです。



市長の政治姿勢に  
ついて伺う



質 問

南摩ダムについて検討結果、市長の考えを伺う。

答 弁(市長)

地域住民や市への影響をよく見極め、対処します。

平成23年2月に国土交通省関東地方整備局及び独立行政法人水資源機構から利水代替案の検討を要請されたため、調査中であつた地下水が代替案となり得るか、検討を進めてきました。調査結果は、市内4地点で、新たに取水の可能性があるとの結論を得ましたが、参画水量である毎秒0.2トンに達しておらず、また上水道の水源とすることに

ついて、地元の同意まで至っていないこと等から、利水代替案とはならず、その旨を検証主体に報告したものです。

南摩ダムは、現在検証を行っているところで、事業の継続、中止については最終的に国が判断するものと考えます。今後、検証作業が進む中で、国から示される検証の報告書素案に対し、市長として意見を述べる機会がある予定です。検証結果が継続か中止になるか、いずれであろうと地域住民や市にどのような影響があるのかをよく見極め、不利益を被ることのないよう意見を述べたいと考えています。



増 渚 靖弘 議員

鹿沼市総合戦略について伺う



**質 問**  
事業推進の視点、数値目標の考え方について伺う。

**答 弁(市長)**  
夢にチャレンジする人を応援します。

戦略には就業支援や起業・創業支援、子育て支援や婚活支援等、若い人たちを支援する事業を位置づけ、特に夢にチャレンジする人を応援したいと考えています。また、郷土愛を育む教育や青少年のまちづくりへの参加促進により、ふるさと鹿沼に誇りを持ってもらうことも重要な施策であると考えています。定住に関する数値目標について

では、人口ビジョンの中で2030年度までに社会増減、つまり転入・転出をプラスマイナスゼロにすることを目標としています。施策の数値目標は、計画の最終年、平成31年度末における達成度を測る基準として示したもので、重要業績評価指標は、これまでの実績、市民や関係団体の意向等を踏まえて設定しました。今後は、全市をあげて「鹿沼のチカラを高め、夢にチャレンジができるまち」、「全国と世界から注目されるまち」、「豊かなところを育て、生涯安心して暮らせるまち」を目指し、戦略の推進に取り組みたいと考えています。

「鹿沼市総合戦略」とは

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、平成27年度～31年度の5年度における本市の特徴を生かした地方創生の取組や、人口減少対策等の方針をまとめる「ひと・まち・しごと創生 鹿沼市総合戦略」を策定しました。その中に、平成72年(2060年)までの「人口ビジョン」を盛り込みました。

【基本目標】

- (1) 3つの目標
  - I 鹿沼のチカラを高め、夢にチャレンジができるまち
  - II 全国と世界から注目されるまち
  - III 豊かなところを育て、生涯安心して暮らせるまち
- (2) 4つの施策の柱
  - [1] 産業の振興と安定した雇用の創出
  - [2] 地域資源を活用した交流と移住・定住の促進
  - [3] 結婚・出産と子育て支援・教育の充実
  - [4] みんなで支え合う地域コミュニティづくり

※詳細、策定経過等は市ホームページをご覧ください。

佐 藤 誠 議員

市民の利便性に貢献する市役所改革について伺う



**質 問**  
図書館の更なる改善(年中無休化、夜9時までの開館延長、座席増設、学習スペース拡大、ICT機器の利用規制緩和)を提案するがどうか。

**答 弁(教育次長)**  
学習環境の整備に努めていきます。

費用対効果を考えますと現状でも市民の利便性を可能な範囲で満たしていると思われるので、図書館の年中無休化は考えていません。また、現在栃木県内で午後9時まで開館している図書館はありません。平成23年度に開館時間延長のためのアンケート

調査を行いました。夜9時以降までの延長を希望した利用者は全体の6%にとどまりました。今後も夜9時までの開館時間間の延長は考えておりません。

座席数の増加や学習スペースの拡大は、本館・東分館とも所蔵本の増加により、新しくスペースを設けることは困難ですが、本館においては、利用者数が多くなる土・日・祝日は2階の学習席を開放し、学生等が集中して勉強できるように学習環境の整備に努めています。今後、本館の視聴覚コーナーのリニューアルを行い、Wi-Fiの整備を検討していきたいと考えています。



▲図書館(本館)視聴覚コーナー

認定10件、市長提出議案22件、議員提出議案5件が提出されました。  
議員数24名、表決参加議員数23名（議長は表決には加わりません。）

## 全 議 員 が 賛 成

### 決 算

#### 認定2～11 平成26年度鹿沼市一般会計歳入歳出決算 の認定など決算の認定10件

平成26年度一般会計予算は、当初以来6次にわたる補正を行った結果、予算総額は42,940,616,539円となり、決算額は、歳入41,797,001,593円、歳出40,430,179,832円で、実質収支1,154,564,775円の黒字決算となりました。なお、歳入歳出差引額と、実質収支の差額は継続費及び繰越明許費による翌年度へ繰り越すべき財源212,256,986円です。また、各特別会計とも実質収支において黒字決算となりました。

### 平 成 27 年 度 補 正 予 算

#### 議案94 平成27年度鹿沼市一般会計補正予算(第4号)

歳入については分担金及び負担金、国県支出金、繰越金、市債等の増減額を計上し、歳出については施設型給付・地域型保育給付等事業費、農作物活性化推進事業費、農業施設災害復旧事業費、道路橋りょう災害復旧事業費、河川災害復旧事業費等の増減額を計上したもので、補正額を29億6,803万2千円の増とし、予算総額を453億4,399万5千円とするものです。

#### 議案95 平成27年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入については、国庫支出金、繰入金、繰越金等の増減額を計上し、歳出については、一般被保険者療養給付費、保険財政共同安定化事業拠出金、国民健康保険準備積立基金積立金等の増減額を計上したもので、補正額を7億6,756万5千円の増とし、予算総額を134億4,610万2千円とするものです。

#### 議案96 平成27年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計補正予算(第1号)

歳入については、繰入金及び繰越金の増減額を計上し、歳出については下水道事務所管理費、公共下水道建設関係職員給与費等の増減額を計上し、補正額を2,353万6千円の増とし、予算総額を25億2,413万6千円とするものです。

#### 議案97 平成27年度鹿沼市簡易水道事業費特別会計補正予算(第1号)

歳入については、繰入金、繰越金、諸収入の増減額を計上し、歳出については簡易水道管理事務費及び簡易水道施設管理費の増減額を計上したもので、この補正額を1,055万1千円の増とし、予算総額を2億7,575万1千円とするものです。

#### 議案98 平成27年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算(第1号)

歳入については、繰入金及び繰越金の増減額を計上し、歳出については公設地方卸売市場施設維持管理費に計上したもので、補正額を340万円の増とし、予算総額を2,250万円とするものです。

### 平 成 27 年 度 補 正 予 算

#### 議案99 平成27年度鹿沼市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第3号)

歳入については、繰入金及び繰越金の増減額を計上し、歳出については農業集落排水管理事務費及び農業集落排水処理施設管理費の増減額を計上したもので、この補正額を719万2千円の増とし、予算総額を2億6,899万2千円とするものです。

#### 議案100 平成27年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入については、国県支出金、支払基金交付金、繰越金等の増減額を計上し、歳出については介護給付費準備基金積立金、償還金等の増減額を計上したもので、補正額を1億5,304万円の増とし、予算総額を74億8,080万円とするものです。

#### 議案101 平成27年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入については繰越金の増減額を計上し、歳出については予備費に計上したもので、補正額を325万2千円の増とし、予算総額を9億4,657万5千円とするものです。

#### 議案102 平成27年度鹿沼市財産区管理会特別会計補正予算(第1号)

歳入については繰入金及び繰越金の増減額を計上し、歳出については粕尾財産区事業負担金の増減額を計上したもので、補正額を11万7千円の増とし、予算総額を627万7千円とするものです。

### 条 例 の 制 定

#### 議案108 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

行政不服審査法の施行に伴い、処分等に対する不服の申し立てが審査請求に統一されること等について所要の改正を行うためのものです。

#### 議案109 鹿沼市行政不服審査会条例の制定

行政不服審査法の施行に伴い、市長に対してされた審査請求に係る事件について調査審議するため鹿沼市行政不服審査会を設置するためのものです。





定例会で人事等が決まりました。

## 人事

(敬称略)

- 本会議で人権擁護委員候補者として推薦することに同意しました。

### 人権擁護委員（議案第114号）

柏木 敬子（かしわぎけいこ・鹿沼市上大久保）

#### ▶用語解説「人権擁護委員」

人権擁護委員法に基づいて、日本の各市町村に設置される非常勤職。法務大臣が委嘱する民間のボランティア。任期は3年で、再任も可能。給与の支給はないが、職務を行うために要する費用の弁償を受けることができる。日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していく活動をしている。

- 本会議で鹿沼市教育委員会委員に任命することに同意しました。

### 鹿沼市教育委員会委員（議案第115号）

中西 泉美（なかにし いずみ・鹿沼市坂田山1丁目）

#### ▶用語解説「教育委員会委員」

教育においては政治的中立性と安定性の確保が強く要求されるため、地方公共団体の長から独立した行政機関として教育委員会が設置され、教育についての方針や施策は教育委員会の合議で決定される。委員は人格が高潔で教育・学術及び文化に関し識見を有する者のうちから議会の同意を得て市長が任命する。

## 請願・陳情の結果

- 定例会で審査した陳情の結果は次のとおりです。

陳情第1号 関東・東北豪雨における災害復旧について

趣旨採択

陳情第2号 平成の鹿沼城を築城願いたくお願いについて

不採択

## 特別委員会の設置

- 定例会で3つの特別委員会を設置しました。それぞれの委員会が付託された調査事項について、今後検討していきます。

### ◇議会改革調査特別委員会（定数11名）

委員長	鈴木敏雄
副委員長	谷中恵子
委員	石川さやか 鈴木毅 島田一衛 佐藤誠 館野裕昭 湯澤英之 増淵靖弘 鰐原一男 大島久幸
付託調査事項	1. 各種委員会への議員としての参加について 2. 行政推進調査特別委員会について 3. 発言通告の提出期限について 4. 予算要望のあり方について 5. 先例申合せ事項の見直しについて 6. その他議会改革に関する事項について

### ◇農林業活性化特別委員会（定数11名）

委員長	橋本正男
副委員長	大貫武男
委員	阿部秀実 加藤美智子 市田登 荒井正行 大貫毅 小島実 関口正一 赤坂日出男 船生哲夫
付託調査事項	1. 農林業の活性化について 2. 花木センターの振興・活性化について （直売所・販売所・飲食施設の整備） 3. 林産材の活用について

### ◇鹿沼市議会総合計画検討特別委員会（定数22名）

委員長	増淵靖弘
副委員長	谷中恵子
委員	石川さやか 鈴木毅 島田一衛 阿部秀実 加藤美智子 市田登 佐藤誠 館野裕昭 荒井正行 大貫毅 鈴木敏雄 小島実 湯澤英之 関口正一 鰐原一男 大島久幸 赤坂日出男 橋本正男 大貫武男 船生哲夫
付託調査事項	1. 総合計画に関する調査及び提言について



## 常任委員会の行政視察

### 総務常任委員会

- 11月9日 奈良県 吉野郡 下市町 「下市町営CATV「しもいちテレビ」について」
- 11月10日 大阪府 泉佐野市 「財政健全化の取り組みについて」

泉佐野市は、関西国際空港の開港に合わせて実施した過剰な公共事業の負担が市の財政を圧迫し、平成20年度に財政破綻の懸念がある財政健全化団体に転落しました。財政健全化プランを策定し、職員給与の削減、投資的経費を抑制する一方で空港連絡橋利用税の導入、公共施設を活用したネーミングライツによる歳入増を図り、予定より1年前倒しでプランを達成しました。泉佐野市の事例を伺い、市民にとって真に必要な施策を後退させたり、負担増を招くような事態は許されず、議会としてのチェック機能の重要性を再認識しました。



### 環境経済常任委員会

- 11月9日 滋賀県 近江八幡市 「各種祭りの観光振興について」
- 11月10日 京都府 木津川市 「京力農場プランづくりについて」

近江八幡市では「八幡堀」や、水郷の景観を守る活動を視察しました。今では近江八幡市の貴重な観光資源となっている「八幡堀」もかつては高度成長を背景に埋め立ての危機に直面したことがありました。しかし地域の誇りの象徴としての堀を守ろうという気運が高まり往時の美しい姿を取り戻しました。最近では周辺にカフェや店舗ができ観光誘致に向けた環境が整いつつあります。市民の意識改革がその後の観光振興に結び付いた例として参考になりました。



### 建設水道常任委員会

- 11月9日 佐賀県 嬉野市 「<sup>うれしの</sup>景観条例について」
- 11月10日 佐賀県 唐津市 「公共施設再編について」

嬉野市は、来訪する方にとって重要な入り口景観や、ゆとりある緑豊かな市街地景観を形成するため、市内を4つのゾーンに地区区分しています。それぞれの地区に応じた一定のルールを定め、嬉野らしい景観づくりを進めるために市民、事業者、市がそれぞれの責任と役割を果たし、協働で取り組んでいます。地域の魅力や個性の感じられる景観を将来へ引き継いでいくためには、市民自らが良好な景観を形成する主体であることを認識し、継続性のある施策が重要です。景観づくりの方針を明確にし、将来に向けての方向性を中期的、長期的な捉え方で協働で進めていくという考え方について大いに参考となる視察でした。



### 文教民生常任委員会

- 11月9日 大阪府 守口市 「施設一体型小中一貫校の設置について」
- 11月10日 大阪府 池田市 「小中一貫教育の推進について」
- 11月11日 大阪府 大阪市 「部活動の民営化について」

守口市内の児童生徒数が昭和53年のピークより減少を続けている状況下で、学校の小規模化が問題視され過去幾度かの小中学校の統廃合が行われてきました。平成28年には2つの小学校と1つの中学校が集約された、いわゆる施設一体型の小中一貫校「さつき学園」が開校予定で、同校の教育方針の筆頭には学力向上が掲げられています。鹿沼市においても小規模校や複式学級の問題、施設整備への予算不足、学力の問題が解決されていない状況下で、守口市の辿ってきた経緯や取り組み、今後の経過は大いに注目すべきと感じました。



# 議会からの お知らせ

## 関東・東北豪雨の被災現場を視察しました。

平成27年9月の関東・東北豪雨の被災現場を建設水道常任委員が視察しました。都市建設部担当者より説明を受け、土砂崩れで崩壊した道路や、浸水した家屋の現状を目の当たりにして自然の猛威の恐ろしさを再認識しました。議会としても一刻も早い災害復旧、被災者の生活再建支援に取り組んでいきます。



## 新任議員研修会を開催しました。

初当選した6名の議員が参加し、新任議員研修会を開催しました。11月16日の研修は横尾議長の激励のあいさつに始まり、地方議会の職務、権限、市の組織、予算等についての研修、18日は栗野小学校、南押原コミュニティセンター、消防庁舎等を訪れ、施設担当者から説明を受けました。新任議員研修会は引き続き2月にも開催されます。



## 議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～

2月	3月						
月	火	水	木	金	土	日	
2/15	16	17	18	19	20	21	
				10:00 議会運営委員会			
22	23	24	25	26	27	28	
				10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明			
29	3/1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
	9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	13:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問	予備日			
14	15	16	17	18	19	20	
10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会	10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決				

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

## 本会議の動画配信をしています。

動画配信サイトYOUTUBEで本会議の映像を録画配信しています。鹿沼市ホームページの「市議会」バナーより入り、ご覧になりたい内容をクリックしてください。



## 表紙の写真は

「かぬまおひな様めぐり」の期間中は「屋台の町中央公園」を中心に市内各所におひなさまが飾られます。いずれもご家庭や、商家で大切にされてきたものです。江戸や明治期のおひなさまをはじめ、つるし雛やハンドメイドの可愛いおひな様が皆さまをお待ちしています。※写真は平成27年のものです。